

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公表番号】特表2010-527331(P2010-527331A)

【公表日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2010-506698(P2010-506698)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
C 0 7 C	57/48	(2006.01)
C 0 7 C	311/19	(2006.01)
C 0 7 C	311/20	(2006.01)
C 0 7 C	311/58	(2006.01)
C 0 7 F	9/6561	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/18	(2006.01)
A 6 1 K	31/20	(2006.01)
A 6 1 K	31/4406	(2006.01)
A 6 1 K	31/4365	(2006.01)
A 6 1 K	31/422	(2006.01)
A 6 1 K	31/444	(2006.01)
A 6 1 K	31/403	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 K	31/7076	(2006.01)
A 6 1 K	31/663	(2006.01)
A 6 1 K	49/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/68	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
C 0 7 C	57/48	
C 0 7 C	311/19	
C 0 7 C	311/20	
C 0 7 C	311/58	
C 0 7 F	9/6561	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	31/18	
A 6 1 K	31/20	
A 6 1 K	31/4406	
A 6 1 K	31/4365	
A 6 1 K	31/422	
A 6 1 K	31/444	
A 6 1 K	31/403	
A 6 1 K	45/06	

A 6 1 K 31/7076
A 6 1 K 31/663
A 6 1 K 49/00 A
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 7/02
A 6 1 P 9/10
A 6 1 P 9/10 1 0 1
A 6 1 P 7/06
A 6 1 P 11/06
A 6 1 P 11/00
G 0 1 N 33/68

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

COX-1酵素阻害剤での療法が、阻害剤に対する感受性、不耐性または抵抗性のいずれかのため使用できない個体において、病気、障害または創傷を治療または予防するための医薬組成物であって、イフェトロバン、テルボグレル、ピコタミド、S-18886、UK-147,535、セラトダスト-AA-2414、ラマトロバン、リドグレル、BMI-531、及び酸化窒素供与TPアンタゴニストからなる群から選択される治療上有効量のTPモジュレーターを含む、前記医薬組成物。

【請求項 2】

ADP受容体モジュレーターまたはCD39モジュレーターをさらに含む、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記COX-1阻害剤が、アスピリンまたは非ステロイド抗炎症薬物である、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記TPモジュレーターがイフェトロバンである、請求項 1～3 のいずれか 1 項記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記治療上有効量が1mg/kg～200mg/kgである、請求項 1～4 のいずれか 1 項記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記ADP受容体モジュレーターがN-[2-(メチルチオ)エチル]-2-[(3,3,3-トリフルオロプロピル)チオ]-5'-アデニル酸、ジクロロメチレンビスホスホン酸とのモノアンヒドリド、2-(プロピルチオ)-5'-アデニル酸、ジクロロメチレンビス(ホスホン酸)とのモノアンヒドリド、(+)-(S)- α -(2-クロロフェニル)-6,7-ジヒドロチエノ[3,2-c]ピリジン-5(4H)-酢酸メチル、または2-アセトキシ-5-(α -シクロプロピルカルボニル-2-フルオロベンジル)-4,5,6,7-テトラヒドロチエノ[3,2-c]ピリジンからなる群から選択される、請求項 2 記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記ADP受容体モジュレーターがクロピドグレルである、請求項 2 記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記TPモジュレーターの治療上有効量が、投与から2～10時間後に、10～500ng/mlのTPモジュレーターの平均血漿中濃度に導くものである、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項9】

前記TPモジュレーターがTPアンタゴニストである、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項10】

前記病気または障害が心血管病もしくは障害である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項11】

前記心血管病または障害が急性冠動脈症候群または血栓障害である、請求項10記載の医薬組成物。

【請求項12】

前記急性冠動脈症候群が：急性心筋虚血症、急性心筋梗塞、およびアンギナよりなる群から選択される、請求項11記載の医薬組成物。

【請求項13】

前記血栓障害が：アテローム性動脈硬化症、血小板増加症、末梢動脈閉塞、および狭窄よりなる群から選択される、請求項11記載の医薬組成物。

【請求項14】

前記病気または障害が：鎌状赤血球貧血、卒中、喘息、肺高血圧、および急性肺損傷よりなる群から選択される、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項15】

前記医薬組成物が血小板凝集を阻害するためのものであり、前記TPモジュレーターがイフェトロバンであり、かつ前記イフェトロバンの治療上有効量が少なくとも350nMの血中濃度を少なくとも6、12、24、または48時間維持するのに十分な量である、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項16】

前記ADP受容体モジュレーターの量が、前記個体に1mg/kg～200mg/kgを投与するためのものである、請求項2記載の医薬組成物。

【請求項17】

前記ADP受容体モジュレーターの量が、前記個体に10mg/kg～100mg/kgを投与するためのものである、請求項16記載の医薬組成物。

【請求項18】

前記ADP受容体モジュレーターの量が、前記個体に20mg/kg～50mg/kgを投与するためのものである、請求項16記載の医薬組成物。

【請求項19】

前記ADP受容体モジュレーターがチエノピリジン誘導体である、請求項16記載の医薬組成物。

【請求項20】

前記チエノピリジン誘導体がチクロピジンまたはプラスグレルである、請求項19記載の医薬組成物。